

竹野浜自治会だより 11月版

令和6年11月25日発行
豊岡市竹野町竹野 2422-9
電話：0796-20-1745
竹野浜自治会

紅葉も冬の到来も一気にやって来そうな今日この頃ですが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

先月は、自治会員皆様に会員名簿作成のご協力を頂き誠にありがとうございました。提出して頂いた会員名簿を基に、【地縁団体 竹野浜自治会】の再生に取り組んで参りたいと思いますので、今後ともご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、今年も残すところ一月余りとなりました。自治会では、降雪シーズンに向けて各地区の除雪箇所の検討を行っております。ご不便をおかけする場所もあるかと思いますが、ご理解頂きますようよろしくお願い致します。

11月3日には各地区で秋祭りが行われ、子供たちの掛け声が各地域で聞こえました。



中央駐車場について・・・

冬期期間（令和6年11月1日～令和7年3月31日）は各宿泊施設さんへの期間貸借契約を行っておりますが、一時的に使用を希望されます方がありましたら竹野浜自治会までご連絡をください。

[TEL:0796-20-1745](tel:0796-20-1745)

竹野浜自治会事務所

～なごみてえよりお知らせ～

★WE WANT YOU スタッフ募集★

◎ボランティアスタッフとしてお店の当番をします。

◎シフト制で、週1～2回（半日）

◎年齢は問いません。

※詳細は、なごみてえ迄お問い合わせください

なごみてえの会

会長 濱上吉徳 TEL:21-7488

《ちょっと“竹野”》

『北前船って?』



10月日より『北前船と青井石』を紹介しましたが、竹野浜といえば美しい浜や海岸線の風景、そして【北前船】。

さて、この北前船について皆さんはどれくらいご存知でしょうか？日本史の勉強で“菱垣廻船”や“樽廻船”を聞いたことはあっても、この【北前船】については意外と語られていませんね。

実は、【北前船（きたまえぶね）】という言い方が広く使われるようになったのが、昭和61年5月（竹野には5月21日～22日寄港）高田屋喜兵衛の持船「辰悦丸」を復元して淡路を出港。大阪を經由して北海道・江差まで回航するイベントが行われ、その頃から【北前船】という名称が広く流布するようになりました。

もともと【北前船】という呼び名は摂津や瀬戸内の人たちが、日本海方面から下関を經由して、瀬戸内・大阪へ廻漕してくる廻船のことを【北前船】と呼んでいました。

通称的な呼び名は、各地で様々な呼び方がありますが日本海沿岸、但馬で呼称されていたものでは、渡海船（とかいぶね）、小廻し（こまわし）、大廻し、千石船（せんごくぶね）帆前船（ほまえせん）、売船（ばいせん）。

船型からの呼び名では、前述した菱垣廻船、樽廻船の他には、北国船（ほっこくぶね）、羽賀瀬船（はがせぶね）、間瀬船（まぜぶね）、弁才船（べんざいぶね）などが呼ばれています。

ちなみに『菱垣廻船』は、米等主要物資を預かって輸送。『樽廻船』は、今年、世界遺産にも認定された『灘の清酒』を早春に江戸・東京まで運んでいました。

【北前船】は、江戸時代から明治時代にかけて荷物を買付け、他所で売るといった一種の『海上マーケット』でした。

当時の船の航法は、よく漁師さんが『山立て』と話されているのをご存知の方もいるかと思いますが、当時は『地乗り（じのり）』といわれる陸地の山や風景を見て航行したといわれます。海難事故に遭わないために雨風、潮の様子をみて、危ない時は近くの港に避難していました。

竹野浜・賀島（今の猫崎半島）は、まさに絶好の『風除け港・風待ち湊』でした。

12月版では、我が町の歴史遺産“北前船”について、ちょっと紐解いてみようと思います。次回を楽しみにしててください。

第4回

どうやって使うの？
イチから始める 《スマホ教室》



日時: 12月13日(金)
午後1時30分～午後2時30分
場所: 竹野浜自治会館 集会室

自由参加 無料

主催:カルチャークラブ
移動通信端末診断士 アドバイザー 村井 整

質問だけでも受け付
けます！お気軽に聞きに
来てくださいね！

